



## 2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年7月29日  
上場取引所 東

上場会社名 小林製薬株式会社  
 コード番号 4967 URL <https://www.kobayashi.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 章浩  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 グループ統括本社本部長 (氏名) 山根 聡 TEL 06-6222-0142  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日  
 配当金支払開始予定日 2021年9月9日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第2四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	67,052	1.3	10,240	0.2	11,091	0.6	7,881	△4.1
2020年12月期第2四半期	66,180	△4.5	10,220	△8.2	11,029	△5.2	8,218	0.2

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 11,331百万円 (100.6%) 2020年12月期第2四半期 5,648百万円 (△24.8%)

	1株当たり四半期純利益
	円 銭
2021年12月期第2四半期	100.84
2020年12月期第2四半期	105.14

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	239,352	190,553	79.6
2020年12月期	238,366	182,583	76.6

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 190,553百万円 2020年12月期 182,583百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	34.00	—	43.00	77.00
2021年12月期	—	37.00	—	—	—
2021年12月期 (予想)	—	—	—	44.00	81.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	156,000	3.6	26,000	0.2	27,800	0.3	19,500	1.5	249.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期2Q	82,050,000株	2020年12月期	82,050,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	3,886,935株	2020年12月期	3,886,911株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期2Q	78,163,083株	2020年12月期2Q	78,163,163株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P.4「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

当社は2021年7月29日（木）に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料につきましては、開催当日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループをとりまく経営環境は、新型コロナウイルス感染症の拡大による世界的な経済活動の減速等が懸念され、日本においても外出自粛や訪日外国人の大幅な減少による消費低迷など、不透明な状況が続きました。

そうした状況のなか、当社グループは「“あったらいいな”をカタチにする」をブランドスローガンに、お客様のニーズを満たす新製品の発売や既存製品の育成、今後の成長事業への投資に努めてまいりました。

その結果、売上高は67,052百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益は10,240百万円（前年同期比0.2%増）、経常利益は11,091百万円（前年同期比0.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7,881百万円（前年同期比4.1%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、当社グループの主要な経営管理指標（経営資源の配分の決定や業績の評価などの検討に使用している経営指標など）を経常利益から営業利益に変更したことに伴い、セグメント利益も経常利益から営業利益に変更しております。

この変更に伴い、前年同四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失も営業利益又は損失に変更したうえで比較しております。

国内事業

当事業では、口腔内の様々な菌を一度に殺菌してお口の健康を守る殺菌トータルケアハミガキ「ゼロラ」、紅麹を機能性関与成分とした悪玉コレステロールを下げる機能性表示食品「紅麹コレステヘルプ」、マスク着用によるムレ感を解消できるマスク専用スプレー「のどぬ〜るマスク ムレ感対策」など14品の新製品を発売し、売上に貢献しました。

また、新型コロナウイルスの感染予防対策として除菌・衛生関連用品の需要が昨年に引き続き見られ、水ぎわの黒ズミ発生を抑え、お掃除がラクになる液体タンククリーナー「液体ブルーレット除菌EX」、痛くない鼻うがいが簡単にできる「ハナノア」などが好調に推移しました。

一方、訪日外国人の減少に伴ってインバウンド需要が大きく減少しました。

さらに、外出自粛や飲み会の減少、マスク着用による風邪・インフルエンザ罹患者の減少等により、ニオイのもとから息をリフレッシュする口中清涼剤「ブレスケア」や冷却ツブ配合の貼るタイプの冷却シート「熱さまシート」などが減収となりました。

その結果、売上高は54,655百万円（前年同期比3.4%減）、セグメント利益は10,243百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第2四半期連結累計期間では2,844百万円、当第2四半期連結累計期間では2,540百万円となっております。

(外部顧客への売上高の内訳)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	増減	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)
ヘルスケア	25,374	25,763	389	1.5
日用品	24,353	21,893	△2,459	△10.1
スキンケア	3,425	3,552	126	3.7
カイロ	554	904	350	63.3
合計	53,707	52,114	△1,592	△3.0

国際事業

当事業では、米国・中国・東南アジアを中心に、カイロや額用冷却シート「熱さまシート」、外用消炎鎮痛剤「アンメルツ」などを販売しており、広告や販売促進など積極的に投資することで、売上拡大に努めました。

また、昨年の暖冬の反動に加え、今年は各国で気温が低下したことで、米国や中国を中心にカイロが増収となりました。

さらに、昨年10月に実施したM&Aにより当社連結子会社となった米国のAlva-Amco Pharmacal Companies, LLCが、売上に貢献しました。

その結果、売上高は10,833百万円（前年同期比29.3%増）、セグメント損失は524百万円（前年同四半期はセグメント損失381百万円）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第2四半期連結累計期間では680百万円、当第2四半期連結累計期間では627百万円となっております。

(外部顧客への売上高の内訳)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	増減	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)
米国	1,721	3,824	2,102	122.1
中国	3,034	3,924	890	29.3
東南アジア	1,830	1,375	△455	△24.9
その他	1,110	1,082	△28	△2.5
合計	7,697	10,206	2,509	32.6

通販事業

当事業では、栄養補助食品、スキンケア製品等の通信販売を行っており、広告やダイレクトメールを中心とした販売促進による新規顧客の開拓と既存顧客への購入促進に努めました。

その結果、売上高は4,482百万円（前年同期比0.3%増）、セグメント利益は104百万円（前年同期比4.1%減）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおりません。

その他

当事業には、運送業、合成樹脂容器の製造販売、不動産管理、広告企画制作等を含んでおり、各社は独立採算で経営し、資材やサービス提供についてその納入価格の見直しを適宜行いました。

その結果、売上高は3,346百万円（前年同期比9.1%増）、セグメント利益は413百万円（前年同期比28.3%増）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第2四半期連結累計期間では2,760百万円、当第2四半期連結累計期間では3,096百万円となっております。

## (2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ986百万円増加し、239,352百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加（6,949百万円）、受取手形及び売掛金の減少（11,017百万円）、有価証券の増加（3,504百万円）、商品及び製品の増加（3,612百万円）、原材料及び貯蔵品の増加（541百万円）、建設仮勘定の増加（424百万円）、投資有価証券の減少（3,270百万円）等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ6,984百万円減少し、48,799百万円となりました。主な要因は、未払金の減少（3,611百万円）、未払法人税等の減少（1,746百万円）、未払消費税等の減少（1,172百万円）、繰延税金負債の増加（1,120百万円）等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ7,970百万円増加し、190,553百万円となり、自己資本比率は79.6%となりました。主な要因は、利益剰余金の増加（4,520百万円）、その他有価証券評価差額金の増加（1,688百万円）等によるものです。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは9,773百万円(前年同四半期は11,969百万円)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益11,037百万円、減価償却費1,871百万円、売上債権の減少額11,387百万円、たな卸資産の増加額4,149百万円、未払金の減少額3,638百万円、法人税等の支払額4,518百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは4,142百万円(前年同四半期は182百万円)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出27,950百万円、定期預金の払戻による収入32,004百万円、有価証券の売却及び償還による収入2,100百万円、有形固定資産の取得による支出1,773百万円です。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは△3,459百万円(前年同四半期は△3,232百万円)となりました。これは主に、配当金の支払額3,361百万円です。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末より10,951百万円増加し、72,108百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の連結業績予想につきましては、2021年2月1日付け公表の「2020年12月期 決算短信」に記載の業績予想からの変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	78,253	85,202
受取手形及び売掛金	52,850	41,832
有価証券	16,085	19,589
商品及び製品	8,960	12,572
仕掛品	1,548	1,881
原材料及び貯蔵品	3,631	4,173
その他	2,917	2,650
貸倒引当金	△21	△16
流動資産合計	164,225	167,887
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,961	7,930
機械装置及び運搬具(純額)	4,729	4,752
工具、器具及び備品(純額)	1,397	1,421
土地	4,739	4,743
リース資産(純額)	656	670
建設仮勘定	1,337	1,761
有形固定資産合計	20,821	21,279
無形固定資産		
のれん	7,284	7,345
商標権	4,030	3,942
ソフトウエア	1,286	1,354
その他	192	199
無形固定資産合計	12,794	12,841
投資その他の資産		
投資有価証券	34,474	31,203
長期貸付金	700	761
繰延税金資産	1,443	1,528
投資不動産(純額)	2,765	2,747
その他	1,908	1,924
貸倒引当金	△766	△820
投資その他の資産合計	40,525	37,344
固定資産合計	74,141	71,465
資産合計	238,366	239,352

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,558	8,079
電子記録債務	8,368	7,660
短期借入金	13	1
未払金	20,968	17,356
リース債務	170	175
未払法人税等	4,371	2,624
未払消費税等	1,417	244
賞与引当金	2,797	2,350
その他	4,441	3,481
流動負債合計	50,107	41,974
固定負債		
リース債務	505	517
繰延税金負債	1,357	2,477
退職給付に係る負債	1,920	1,944
役員退職慰労引当金	40	40
その他	1,852	1,843
固定負債合計	5,675	6,824
負債合計	55,783	48,799
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,450	3,450
資本剰余金	4,183	4,183
利益剰余金	187,071	191,592
自己株式	△19,763	△19,763
株主資本合計	174,941	179,462
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,449	12,137
為替換算調整勘定	△1,517	107
退職給付に係る調整累計額	△1,290	△1,153
その他の包括利益累計額合計	7,641	11,091
純資産合計	182,583	190,553
負債純資産合計	238,366	239,352



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	66,180	67,052
売上原価	27,752	27,430
売上総利益	38,428	39,621
販売費及び一般管理費	28,207	29,381
営業利益	10,220	10,240
営業外収益		
受取利息	171	75
受取配当金	239	227
不動産賃貸料	152	150
為替差益	—	321
その他	537	226
営業外収益合計	1,101	1,001
営業外費用		
支払利息	9	9
不動産賃貸原価	54	48
為替差損	110	—
貸倒引当金繰入額	60	66
その他	56	27
営業外費用合計	292	150
経常利益	11,029	11,091
特別利益		
固定資産売却益	2	0
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産除売却損	23	39
その他	125	14
特別損失合計	149	53
税金等調整前四半期純利益	10,882	11,037
法人税、住民税及び事業税	3,266	2,834
法人税等調整額	△601	322
法人税等合計	2,664	3,156
四半期純利益	8,218	7,881
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,218	7,881

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	8,218	7,881
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,183	1,688
為替換算調整勘定	△519	1,625
退職給付に係る調整額	134	136
その他の包括利益合計	△2,569	3,450
四半期包括利益	5,648	11,331
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,648	11,331
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	10,882	11,037
減価償却費	2,203	1,871
のれん償却額	91	424
受取利息及び受取配当金	△411	△302
支払利息	9	9
固定資産除売却損益 (△は益)	20	39
売上債権の増減額 (△は増加)	14,633	11,387
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,911	△4,149
仕入債務の増減額 (△は減少)	△690	△266
未払金の増減額 (△は減少)	△6,302	△3,638
その他	△708	△2,449
小計	15,815	13,963
利息及び配当金の受取額	418	336
利息の支払額	△11	△8
法人税等の支払額	△4,253	△4,518
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,969	9,773
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△32,193	△27,950
定期預金の払戻による収入	32,835	32,004
有価証券の売却及び償還による収入	2,000	2,100
有形固定資産の取得による支出	△2,150	△1,773
有形固定資産の売却による収入	11	4
無形固定資産の取得による支出	△165	△180
投資有価証券の取得による支出	△8	△5
その他	△147	△57
投資活動によるキャッシュ・フロー	182	4,142
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△7	△12
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△3,128	△3,361
その他	△96	△85
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,232	△3,459
現金及び現金同等物に係る換算差額	△300	495
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8,618	10,951
現金及び現金同等物の期首残高	56,272	61,157
現金及び現金同等物の四半期末残高	64,891	72,108

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	国内 事業	国際 事業	通販 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	53,707	7,697	4,468	65,873	307	66,180	—	66,180
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,844	680	—	3,524	2,760	6,285	△6,285	—
計	56,551	8,377	4,468	69,398	3,067	72,465	△6,285	66,180
セグメント利益又は損失(△)	10,169	△381	108	9,896	322	10,218	1	10,220

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額1百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報の記載を省略しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	国内 事業	国際 事業	通販 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	52,114	10,206	4,482	66,803	249	67,052	—	67,052
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,540	627	—	3,167	3,096	6,264	△6,264	—
計	54,655	10,833	4,482	69,970	3,346	73,317	△6,264	67,052
セグメント利益又は損失(△)	10,243	△524	104	9,823	413	10,236	3	10,240

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額3百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループの主要な経営管理指標(経営資源の配分の決定や業績の評価などの検討に使用している経営指標など)を経常利益から営業利益に変更したことに伴い、セグメント利益も経常利益から営業利益に変更しております。

この変更に伴い、前年同四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失も営業利益又は損失に変更したうえで比較しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。